かざこし祭　閉祭式　　R4・10・1

数多くの写真を駆使し、よく編集された振り返りムービーが流れ、我が西中の素晴らしい生徒と先生たちとの活動が鮮明に思い出されました。たった今、互いに讃え合う全校の拍手が包まれ、西中ワンチームのあたたかさも実感した次第です。特に、運営スタッフとして慌ただしく動き回っていた皆さんには、充実感と安堵感が交差しているのではないかと想像します。お疲れ様でした。
ただ、忘れてはならないこともあります。それは、同じ空間に居なかった友もいるということです。人には様々な事情がある訳ですが、それを察して、在籍する仲間への思いも寄せてほしいと思います。

保護者の皆様もご来場有り難うございました。陽性者や濃厚接触者、学級閉鎖などもあり、無事に開催できるか思案しましたが、このように大成功のもと開催できました。日常の学習の成果や責任感をもって真剣に取り組むお子さんの成長ぶりをご覧いただけたと思っています。

開祭式のときに、完璧を求めなくてもよい。今ある自分の力プラスαで自分の思いを相手に伝えること。失敗やミスは恐れなくてよい。自分らしく、でもちょっと背伸びをして、やり切ってほしいと伝え、二日間を皆さんに託しました。皆さんの表情から察すると、先生方ともスクラムを組んで文化祭を満喫し、今までの自分から一歩を踏み出せたように感じます。

この後、表彰式が行われます。音楽会のときに「ナンバー1を目指してもよいしオンリー1になってもよい」ということを話しました。ナンバー1を決める審査はかなり難航しました。音楽会後半の3年生3クラスの壁がとても高かったからです。最終的には、作詞・作曲者の思いの表現である曲想が伝わったかという、音楽的観点からナンバー1が決まりました。
加えて、この音楽会に懸ける熱意が十分に伝わり、私の魂が揺さぶられたクラスに、オンリー1賞としての校長賞を贈りたいと思います。
音楽会はじめ、この後の表彰式で表彰される皆さんに、事前に「おめでとうございます」の祝意を伝えておきます。

皆さんの潜在力を信じ、任せた甲斐がありました。今年もまた3年生の凄さ、真剣に取り組むことの格好よさを目の当たりにしました。素晴らしい文化祭を創り上げ、感動を味わわせてくれて有り難うございました。
1年生の皆さんは、児童ではなく生徒の姿、自ら考え動く上級生の姿を実感し憧れを抱いたことと思います。2年生の皆さんは、いよいよ第50回節目のかざこし祭へのバトンタッチ目前です。皆さんの出番が近づいています。我が西中のバトンをしっかりと引き継いでください。